

## 平成28年度（公財）加納美術振興財団事業計画（案）

H28.2.20 制定

1. 平成25年度より向こう5年間安来市よりの安来市加納美術館の管理者に指定をされている。協定に基づき美術館の管理運営と収蔵品の保持保存業務を行うとともに、安来市はじめ地域文化芸術の掘り起しと振興に努める。
2. 加納莞菴のフィリピン戦犯釈放運動を通して確立されたキリノ大統領の「平和へのモラル」を、フィリピンのキリノファミリーと協同で世に広めていく活動を常とする。・・・（注）「平和へのモラル」＝教し難きを教し、憎しみの連鎖を断ち切る。
3. 当館の収蔵する陶磁器、日本画、油彩、墨彩画、水彩画、書、彫像、彫刻の美術作品の展示及びそれらに関する学術研究、講演会を実施する。
4. 展示及び講演会などの宣伝、啓発広告は、チラシ、ポスター、ホームページ、マスメディア、電柱広告、市報などにより行うとともに、観光アドバイザーによる関東・関西へのアプローチを図る。
5. 28年度は次の企画展及びイベントを行う。
  - ①企画展
    - ～3月中旬 『山陽の三巨匠 春を愉しむ』展
    - 3月末～7月 『加納莞菴と独立美術』展
    - 7月～9月 『安部朱美人形』展
    - 10月 『平和祈念』展
    - 10月～12月 『今こそ永遠 河井寛次郎 ふるさと安来への言伝』展
    - 12月～3月 『日本の心を見る』展（仮称）
    - 通期 『加納莞菴』展、『名碗』展 等
  - ②イベント
    - 3月～11月 『名碗を愉しむ会』（茶会、毎月1回計8回、8月は除く）
    - 4月 安来ひなめぐり協賛
    - 10月 カルチャーバス（布部交流センターと共催）
6. 美術館のサービス向上 → 『癒しとくつろぎのある美術館』を目指して
  - ① 来館者への茶菓、抹茶のふるまいを継続する
  - ② 映像ガイドの導入 どじょっこTVと連携
  - ③ 出前授業（学校、地域交流センター等）、講演

7. 館の運営
  - ① 次世代を託せる学芸員の確保
  - ② ボランティア、サポーターの募集によるイベントのスムーズな運営
  - ③ 各種ファンド、補助金制度などの利用
8. 地域振興事業の推進
  - ① しまねミュージアム協議会、県内文化協会、文化事業団体などとの連携
  - ② 学校、公民館などとの連携による、地域の美術、文化振興
9. 作品、建屋、設備機器の修復
  - ① 市所有の作品の修復（シミ、カビ、破れなど5点程度）
  - ② 照明、絨毯などの更新
  - ③ 道路看板の整備修正
  - ④ 温調、調湿機の運転による適性な展示環境作り
  - ⑤ 庭の手入れ（除虫、除草の徹底）
  - ⑥ 収蔵庫建設 建設に関わる本設計料予算計上（H28年度安来市）  
向3年間で完成を目指す。
10. その他
  - ① 世界記憶遺産（ユネスコ）登録に向けて、莞菴のフィリピン戦犯助命嘆願関係の書類の整理・保存
  - ② 安来市開発公社貸付金残 23百万円安来市と返金交渉継続  
裁判所による民事調停を見守る